D.Y.F.C　静岡県　熱海港海釣り施設
海釣りスクール　開催レポート

開催日：2024年10月26日（土）~27日（日）

ビギナー向けのサビキ釣りから本格的なウキフカセ釣りまで！
さまざまな釣り方で熱海港の魚たちを攻略してきました!!

D.Y.F.C.に称を改めるスクールと言えば、静岡県「熱海港海釣り施設」で開催する海釣り！今期は大好評につき、10月26、27日の2日間に渡り開催しました。
海釣りには、いろいろな釣り方がありますが、今回はビギナーでも楽しめてたくさんのれるサビキ釣りと期待を仕掛け釣りをメインに、チョイ投げでのウキサビキ釣り、テクニックコースを選んだ参加者たちは、本格的なウキフカセ釣りまでチャレンジしました。
2日間とも最初の集に、それぞれの釣りのコツを編釣のトップアナスンター・森川芳郎プロと山口由彦プロから教わり、釣り場となる堤防へ移動した参加者たち。われる魚は、この時期回遊してくるトウゴロウイワシを筆頭に、メバル、メジナ、カワハギ、そしてパワーダブンオなどの青物狙と実に豊富で、スクールは最初に何を狙うかをコーチと相談。初日はトウゴロイワシの回遊が見られなかったので、まずは魚を集めることを最優先に考え、足元にコマセを撒き、そこにサビキ仕掛け投入れる作戦を選ぶ狙が大半となりました。
釣り始まってしばらくするとコマセ効果が出始め、ネンブンダイがサビキ仕掛けにヒット！その中に黒筋魚の少カハやイサギがまじり、参加者たちは大興奮。狙いたネンブンダイとアオンゴが1投ほどセレンスとともあり、熱海港の魚種の豊富さに参加者たちは驚きの表情を見せていました。
その後、短期にいろいろな釣り方を試し、海釣りのいろいろな楽しみ方を学習、終盤タイムを迎えました。
２日目は昨日の状況から一転し、トウゴロウイワシが表層を回遊、全ての局がトウゴロウイワシ狙いに選んだサビキ仕掛けをセッティング。
準備が整った局から、仕掛けを投入ししかし、なかなか掛かりません。
この日のトウゴロイワシは、ごきげんナナメだったのか？　警戒心が強く、仕掛けを投入するとパッと逃げる状態でした。
そんな状態にコーチ陣は、前日同様、コマセを撒いて魚を寄せることをアドバイス。参加者たちはこれを早速聞く小いヒットを得ています。徐々に魚が掛かるようになっていきました。
一方、テクニックコースを選んだ高学年の局は、チョイ投げでのウキサビキ釣りで、堤防から5ｍくらい先に見えた少カハで釣イチに狙い、コンスタントにキャッチ。その後ウキフカセ釣りに挑み、良型のメジナ狙いに移行。こちらはアタリが出ないビアな状況が続きましたが、コーチ陣からタナの探り方や仕掛けのバリエーションなど、われるための技術をパッチリ覚わり、テクニックを向上させました。
スクール終了間には、中学二年生の男にアタリが出ましたが、掛魚の取アワセでノーフィッシュ。それでも、探り方が間違ってなかったと周囲いから拍いの表情を見せてくれました。
２日に渡って開催し、場数で楽しめるさまざまな釣り方を学んだ参加者たち、そのすべての人が「楽しかったです。また来て楽しみます！」とニッコリ顔で帰って行きました。

会場となった施設・静岡県「熱海港海釣り施設」は、全長290m、幅15mあるエとした堤防を利用しています。港の一番外側にあり最適しも良いので、さまざまな魚が回遊、接着してもいます。足元の水深が７～８ｍとの広めのため、いろいろな釣り方で魚を狙うことができます！
※「熱海港海釣り施設」は、DYFC会員に特典が付くベ・ベースキャンプにもなっています！

この日を待ち望んだ参加者たちが続々と集結し、受付開始の合図と共に受列してくれました。受付が済むと、オリジナルのライフジャケットを身に着けていただき、まずは安全を確保します。

不要なエアから新たにエアを作り出す！　DAIWAブランドを展開するグローブライド（株）では、この取り組みを『BE EARTH-FRIENDLY RECYCLE』プロジェクトとも作りて実施中です！
今回のようにスクール会場にもその回収BOXを設置していますので、次のスクールでのご協力をよろしくお願いいたします。
ボックサイクル活動の詳しくはこちらをご覧ください。
https://www.daiwa.com/global/ja/be-earth/recycle/

ライフジャケットを着たら、プロたちと記念写真を撮って、まずは参加した証を残します。また参加者が全員集まるまでの間に、ミニスクールを開催。ライフジャケットの安全性を確認したり、結び方の基本や危険な魚の扱い方などをします。受付では目を守り、光の乱反射を防ぐ偏光グラスの当日販売も行っています！

開催式の後、編釣りの名手・森川芳郎プロと山口由彦プロだ！ "サビキ釣り、と "探り仕掛け釣り、のコツをレクチャー。サビキ釣りは、パリ取り多いので天を付ける、またオーバースローでのキャスト禁止などの注意点もしっかり伝えて、釣り場への移動を開始しました！

釣り場への移動時に、コーチと仲間の一致団結ショットもパチリ！　各班が場数の指定位置に入り、道具のセッティングに入りました。竿を伸ばし、ガイドを一直線にしますが、なかなか上手くできない人も、そんな人を見つけたコーチは、マンツーマンで指導、しっかりできるようにアシストします！

２日目は、昨日を回遊するトウゴロイワシが見えたので、ほとんどの局がそれ狙いのサビキ仕掛けをチョイス。仕掛けを投入すると、さっそくヒット。しかし最初にれたのは、トウゴロウイワシではなくネンブンダイでした。

コマセを撒いて、魚を足元に寄せる作戦で最初にターゲットにしたトウゴロウイワシをゲット。その後、コマセ効果でいろいろな魚が釣れて場的は大盛り上がりに！　小学校低学年の局は、最初の1匹に苦労するシーンもありましたが、コーチと一緒におることで次第に慣れて最後はひとりで釣れるようにもなりました。

テクニックコースを選んだ高学年の局は、朝イチにウキサビキ釣りで足元から５mほどの位置を回遊していた黒筋魚のタカハを狙い、コンスタントにゲット。その後ウキフカ仕釣りにチャレンジしました。今回の参加者たちは、いろいろな釣り方を試し、それぞれの特性を学習、釣り方で、われる魚が変わることなども見えて終了タイムを迎えました。

できる釣り人は、マナーが良い、次に入る釣り人が気持ち良く釣りを楽しめるよう、開会式に向かう前に釣り場とタックルの清掃をしました。D.Y.F.C.では、釣りのマナーもしっかり学べます！

プロを始め釣りのエキスパート集団が、子供たちを毎回サポートしています!!